

経済指標ウォッチャー

米国雇用の回復ペースは緩やかに

失業率、非農業部門雇用者数ともに改善を示すが。。。

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

雇用の回復ペースは緩やかに

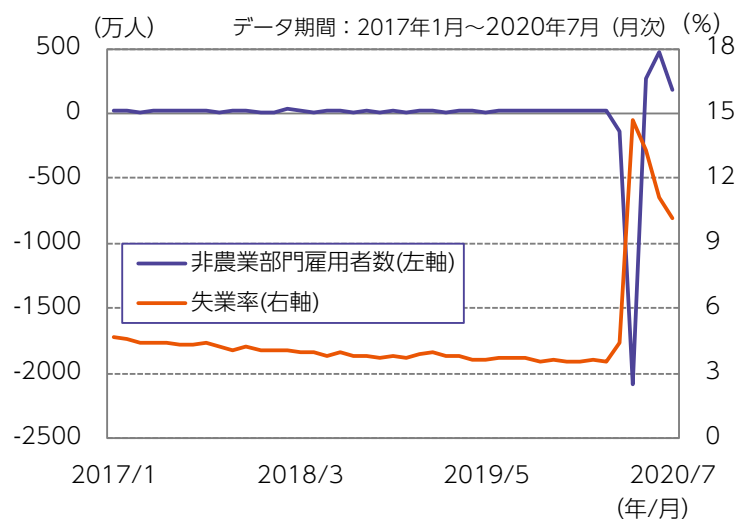
8月7日に米国労働省が公表した7月の雇用統計は、失業率が10.2%と前月（11.1%）より改善し、事前予想（10.6%）もやや上回る結果となりました。非農業部門雇用者数は176.3万人増と事前予想（148万人増）を上回ったものの過去最高を記録した6月の水準（479.1万人増）から大きく鈍化しており、回復のペースがやや減速していることが示されたものと思われ（図表1）。

雇用者総数はコロナ感染前の水準に及ばず

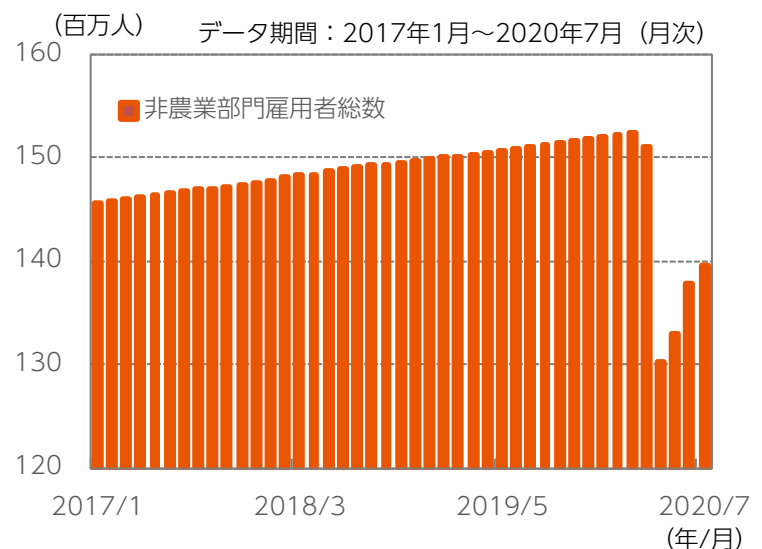
2020年7月の雇用者総数は1億3,960万人と、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年2月の1億5,250万人と比べて1,290万人少ない水準にとどまっています。足元では再び新型コロナウイルスの感染が拡大しており、拡大が顕著な地域では店舗の営業停止やレイオフ（一時帰休）等、経済活動を縮小させる措置が徐々に採られ始めています。感染再拡大を受けて、市場では経済再開に伴う雇用者数の伸びはピークを打ったとの声も出始めており、今後の雇用環境に不透明感が漂い始めているとも言えそうです。

雇用環境の悪化は再選を目指すトランプ大統領にとって、致命傷になりかねず、失業給付の上乗せ延長等の大統領令に続き新たな雇用支援策が打ち出されることも想定されます。厳しい雇用環境が続くことが見込まれるものの、今後の支援策次第では再び雇用環境が上向きになる可能性もあるものと思われ。

図表1：非農業部門雇用者数と失業率



図表2：非農業部門雇用者総数の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>